

昭和55年度 和歌山県文化奨励賞

う じ た ま さ こ
宇 治 田 正 子

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：大正3年

◎業績及び経歴

謡曲は、家族の影響もあり幼少の頃から興味を持っていたので県立和歌山高等女学校卒業後、山本博之氏に師事した。

そして昭和30年県下唯一の女流観世流師範となり、昭和45年第1回サンケイ女流能に参加、文化の振興とりわけ能楽の普及をめざされている。10数年前から県下の中高校生に能楽を無料で鑑賞させるなどされているが、昭和48年には大阪能楽会館で大曲である「道成寺」を演能、その後、同52年にも県民文化会館大ホールで演じた。

翌53年には、「砧」を大槻能楽堂で演能し、この道をきわめたほか、護国神社・日前宮薪能や和歌山市民能、国際親善の能にも参加されるなど、その数80番余に及んでいる。

現在、(財)ソロプチミスト日本財団の評議員であるが、昭和47年和歌山の初代会長として、ボランティア精神の普及につとめられ同54年には、自らチャリティー能を演じた。現在和歌山をはじめ京阪神を中心に後進の指導育成に励まれ、宇治田松風会、松芦会を主宰している。